



まるお

<道しるべ>

「今日の読書こそ真の学問である」「学問とは、人間はいかに生きていくべきかを学ぶものだ」

幕末、長州藩の松下村塾でのちの明治時代の活躍者を育てた吉田松陰の言葉

<学校教育目標>

自ら学び 自他を尊重し
心豊かでたくましい生徒の育成

<重点目標（スローガン）>

感謝＋優しさ＝笑顔と幸せへの道

発行：長崎県立丸尾中学校

文責：校長 川口 猛

令和8年9月1日（火） NO18

2学期スタート! 「凡事徹底」で、一人ひとりが輝く学校へ

2学期スタート!

基本に戻り、自分の可能性をを広げよう

『感謝＋優しさ＝笑顔と幸せへの道』

凡事徹底で、一人ひとりが輝く学校へ

長い夏休みが明け、いよいよ1年の中で最も充実した「2学期」がスタートしました。校内に生徒たちの元気な姿と笑顔が戻り、大変うれしく思います。

2学期は、行事や学習を通して大きく成長できる絶好の機会です。実り多き学期にするために、今一度「基本に戻る」ことを意識してみましょう。日頃の挨拶や身だしなみ、規則正しい生活習慣、授業への臨み方など、当たり前のことを当たり前に積み重ねる「凡事徹底」こそが、一人ひとりの秘められた可能性を大きく広げる確かな足がかりとなります。

また、誰もが安心して自分らしく輝ける学校をつくるために、年間のスローガンである次の言葉を心に留めて過ごしてほしいと思います。

『感謝＋優しさ＝笑顔と幸せへの道』

周りの人や環境への「感謝」の気持ちと、お互いを思いやる「優しさ」が重なり合ったとき、学校全体にあたたかな笑顔と幸せが広がります。平和学習で学んだように、私たちの生活は、生きてくても生きることができなかった戦争の大きな犠牲の上に成り立っており、あたりまではありません。常に、学べる土台があることを感謝したいものです。また、相手を思いやる行動がれば戦争・紛争は起きないことを学びました。平和は、私たちの足元からという意識を持ち、優しい気持ち・思いやりの気持ち・支えあう気持ちで生活したいものです。

今学期は、凡事徹底で自らを高め、仲間とともに支え合いながら、一人ひとりが輝く充実した2学期にしていきたいです。

始業式で使用したスライドをもとに進めていきます。

年間テーマ「+（プラス）」に込めた想い

感謝＋優しさ＝笑顔と幸せ

「+（プラス）」の意味とは?

プラスの意味

「あと一歩」の努力と工夫

つらい時や楽しい時、諦めずに「あと一歩」の努力や工夫をプラスすること。

その小さなプラスの行動が、自分や周りの人を自然と笑顔にし、自己肯定感を高めれば、大きな幸せ（自己肯定感の高揚）へと確実につながっていく。

69名全員の絆

誰一人取り残さない学校

全校生徒69名、お互いの顔や状況がよく分かる小集団だからこそその強みを活かしましょう。

誰一人取り残さず、日々の生活の中で互いに感謝と思いやりの行動を重ね、固定化した温かい関係を温かい絆へと変えていきます。

全校生徒69名、誰一人取り残さず、互いに感謝と思いやりの行動を重ねていきましょう!

本校では年間テーマには、「+（プラス）」を掲げています。この「+」には、大きく分けて2つの重要な意味があります。

1. 「あと一歩」の努力と工夫をプラスする。

勉強や部活動、日常の生活の中で、つらい時や苦しい時があるかもしれません。そんな時こそ、あきらめずに「あと一歩」の努力や工夫をプラスしてみてください。その小さな「+」の行動の積み重ねが、自分自身や周りの人を自然と笑顔にし、自己肯定感を高めれば、大きな幸せへと確実に繋がると考えます。

2. 69名全員の絆で「誰一人取り残さない学校」

全校生徒69名という、お互いの顔や状況がよく分かる小集団だからこそその強みを活かしていき、という意味です。日々の生活の中で互いに感謝と思いやりの行動を重ねること、固定化しがちな関係を温かい絆へと変えていくことができます。

スローガンの認知については、学校評価でも課題の一つであり、改めて、触れるとともに、全校生徒69名、誰一人取り残さず、互いに感謝と思いやりの行動を重ねていく学校生活の基本にもどります。

2学期のキープラス：凡事徹底（ぼんじてっていい）

当たり前のことを、誰も真似できないくらい一生懸命やる



心通う挨拶

相手の目を見て、自分から気持ちよく挨拶を返すこと。



規律の厳守

2分前着席・1分間黙って、心と行動の準備を整えること、他人への行動



思いやりの行動

支えあう集団・思いやりの行動「ありがとう」を言葉にし、相手を支えようとする

2学期をより実り豊かなものにするためのキーワード

ド(キープラス)は「凡事徹底」です。凡事徹底とは、「当たり前」のことを、誰も真似できないくらい一生懸命やる」ことを意味します。具体的には、日々の学校生活で次の3つの「当たり前」を意識して取り組んでいきましょう。

1 心通う挨拶

相手の目を見て、自分から気持ちの良い挨拶を届けること。挨拶一つで、お互いの心が温かくつながります。

2 規律の厳守

2分前着席・1分間黙想を守り、授業への心と行動の準備を整えること。時間を守る行動は、自分だけでなく他人への気遣いでもあります。

3 思いやりの行動

「ありがとう」を言葉にし、相手を気遣う優しさを持つこと。お互いに支え合い、認め合える集団を目指しましょう。

確かな学力を育む【授業規律 4つの約束】

- ① 2分前着席と1分間黙想
チャイム前に行動を切り替え、集中力を高めよう
- ② 挨拶・返事・発表は大きな声で
勇気と自信を持って自分の考えを伝えよう
- ③ 先生や友達の話に全身で聞こう
手を止め、顔を上げて相手に心を向けよう
- ④ 宿題・家庭学習は学力UPの第一歩
毎日の1日6分間の読書推進も大切にしよう



日々の授業で「確かな学力」を身に付け、自分自身の成長を実感するためには、全員が気持ちよく集中して学べる環境をつくるのが欠かせません。その土台となる**「授業規律 4つの約束」を全校で徹底して取り組んでいきましょう。**

① 2分前着席と1分間黙想

チャイムが鳴る前に行動を切り替え、集中力を高めよう。授業への第一歩は「心の準備」から始まります。

② 挨拶・返事・発表は大きな声で勇気と自信を持って自分の考えを伝えよう。主体的な学びが、より深い理解に繋がります。

③ 先生や友達の話に全身で聞こう

手を止め、顔を上げて相手に心を向けよう。人の話をしっかり聴く姿勢が、お互いの信頼と深い学びにつながります。

④ 宿題・家庭学習は学力UPの第一歩

日々の家庭での積み重ねが、大きな実りとなります。**毎日の1日6分間の読書推進**も大切にしよう。これは、アメリカの大学で研究された成果で、6分という時間で、私たちの心や頭脳は、リフレッシュされるそうです。

毎日の「当たり前」の学習習慣を一人ひとりが意識し、全員で高め合いながら「わかる・できる」喜びを増やしていきましょう。

挨拶は、自分のあたたかい気持ちを相手に届ける「優しさのボタン」です。気持ちの良い挨拶が行き交う学校は、誰もが安心して過ごせる場所になります。全員で次の「6大行動要領」を意識して実践していきましょう。

- 1. いつでも 2. どこでも 3. 誰にでも
- 4. 自分から 5. さわやかに 6. 元氣よく

感謝の言葉「ありがとう」を増やそう！

また、挨拶に加えて、日々の生活の中で「ありがとう」という感謝の言葉をたくさん届けていきましょう。気持ちの良い挨拶と「ありがとう」があふれる学校を、生徒・教職員みんなの手で創り上げていきたいと考えています。

次の示すスライドは、心をつなぐ『挨拶』のキーワードです。学校だけでなく、社会生活で通用するポイントだと私は信じています。この実践を進めていきましょう。まずは形から。そのうち。中身がついてきます。

【挨拶の6大行動要領】で心をつなごう

挨拶は自分の気持ちを届ける「優しさのボタン」です。この6つを徹底しましょう！

1 いつでも

2 どこでも

3 誰にでも

4 自分から

5 さわやかに

6 元氣よく

感謝の言葉「ありがとう」を増やそう！
気持ちの良い挨拶と感謝の言葉があふれる学校を、みんなの手で創り上げましょう。

心と体を整え、ポジティブな視点をもとう

★早寝・早起き・朝ごはん

メディア（スマホ・ゲーム）の使用時間を見直し、ノーメディアウィーク等を通して正しい生活習慣を身につけよう。

★『いいことみつけ』の実践

友達の良いところや頑張りを発見し、認め合ひましょう。誰一人取り残さない温かい集団・支え合う集団をめざしましょう。



次に、元気に生き生きと学校生活を送るためには、健康な体と前向きな心が欠かせません。毎日の生活の中で次の2つのことを意識し、充実した毎日をつくっていきましょう。

★早寝・早起き・朝ごはん

メディア（スマホ・ゲーム）の使用時間を見直し、ノーメディアウィーク等を通して正しい生活習慣を身につけよう。生活リズムを整えることが、毎日の活力につながります。

★『いいことみつけ』の実践

友達の良いところや頑張りを発見し、互いに認め合ひましょう。ポジティブな視点を持つことで、誰一人取り残さない温かい集団・支え合う集団をめざしましょう。

まずは自分の生活習慣を整えることからスタートし、周囲の仲間の良いところに目を向けながら、温かい関係性を深めていきましょう。

温かい集団・支え合う集団をつくる「優しさの実践」と「4M」

4Mの日常化

「4M」を形骸化させない行動

マナー・モラル・思いやりなどの「4M（MPKO）」をポスターだけで終わらせず、日々の具体的な行動へ移し

相手の立場に立った行動を意識し、お互いを尊重し合える安全な環境をつくります。

認める文化

『いいことみつけ』と『ありがとう』

友達の良いところや頑張っている姿を発見し、言葉にして褒め認め合ひましょう。

感謝の言葉「ありがとう」を日常にあふれさせ、いじめのない温かい学校を目指します。

誰もが安心して自分らしく輝くためには、お互いを思いやる心が不可欠です。一人ひとりが「優しさ」を実際の行動に移し、温かく支え合う集団を創っていきましょう。

「4M」を形骸化させない行動（4Mの日常化）は非常に重要なことです。

マナー・モラル・思いやりなどの「4M（MPKO）」をポスターだけで終わらせず、日々の具体的な行動へ移し

込み、相手の立場に立った行動を意識してお互いを尊重し合える安全な環境をつくりましょう。いじめ行為は法律で禁止されている行為で、状況によって、警察も関わる重大な人権侵害行為です。絶対に許されません。

そして、「いいことみつけ」と「ありがとう」（認める文化）です。友達の良いところや頑張っている姿を発見し、言葉にして褒め認め合ひましょう。感謝の言葉「ありがとう」を日常にあふれさせ、いじめのない温かい学校にしましょう。

意識を「行動」に変え、言葉にして伝え合うこと。

2学期の合言葉：3つの'C'で成長しよう！

1. Chance

行事や日々の学びがたくさんある2学期は、自分を高める大きな絶好のチャンスです！

チャンス（機会）

2. Challenge

失敗を恐れず、「あと一歩」努力や工夫をプラスして、新しいことに挑戦しよう！

チャレンジ（挑戦）

3. Change

挑戦を積み重ねた先には、一歩前進してたくましくなった「新しい自分」が待っています！

チェンジ（変化・成長）

最後に、2学期の合言葉：3つの'C'で成長！

2学期は行事や日々の学びがたくさんある充実した時期です。この実り多き学期に一人ひとりが大きく成長できるよう、「3つの'C'」を合言葉に日々の学校生活を送っていきましょう。1学期の終業式でも触れたこと。

1. Chance チャンス（機会）

行事や日々の学びがたくさんある2学期は、自分を高める大きな絶好のチャンスです！目の前にある一つひとつの機会を大切に捉えていきましょう。

2. Challenge チャレンジ（挑戦）

失敗を恐れず、「あと一歩」努力や工夫をプラスして、新しいことに挑戦しよう！小さな一歩を踏み出す勇気が、大きな成長につながります。

3. Change チェンジ（変化・成長）

挑戦を積み重ねた先には、一歩前進してたくましくなった「新しい自分」が待っています！自分自身の確かな変化と成長を実感していきましょう。

絶好のチャンス（Chance）を生かし、勇気を持ってチャレンジ（Challenge）することで、自分自身をポジティブにチェンジ（Change）させていく。そんな活気あふれる2学期にしていきましょう。